

会社見学・就業体験受入先情報 掲載内容

受入先の情報	
企業・団体名	高坂林業株式会社
代表者名	代表取締役社長 高坂 英己
住所	〒088-0332 白糠郡白糠町東1条北1丁目1番地14
電話	01547-2-2644
FAX	01547-6-4000
E-mail	t-forest@umail.plala.or.jp
(関連会社)HP	末広緑化造園株式会社【3/4 SQUARE GARDEN】 <a href="http://suehiro-sg.jupiter.bindcloud.jp/">http://suehiro-sg.jupiter.bindcloud.jp/</a>
事業内容	公共林業（造林・素材生産）、公共建設業（土木・造園工事）、民間工事（一般住宅の庭園・外構工事の設計施工）
事業区域	白糠町、釧路市、厚岸町、標茶町、弟子屈町、鶴居村、浦幌町
従業員数	現場作業員：20名（内、通年雇用7名） 事務職員：2名
就業時間帯	7時00分～17時00分（休憩120分）
休日・休暇	日曜日、年末年始、お盆、ゴールデンウィークなど ※変形労働時間制（年単位）を採用した4週6休を基本とする
企業・団体のPR	当社は自社元請直接施工をモットーとしており、技術者の多能工化を目指していますので、20～60代までの全世代が在籍し、今も活躍しています。林業だけではなく、人の住む屋外環境づくりの技術者集団として現在も歩み続けています。
就業採用情報	一緒に働く仲間を随時募集しています。 詳しい採用情報や雇用条件は、当社までお問い合わせください。
会社見学・就業体験のご案内	
受入れ可能期間	7～10月
見学・体験内容	早朝のミーティングから、先輩従業員と一緒に各事業の仕事の1日を体験・見学が可能です。各事業は以下の通りです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・林業～造林作業全般、素材生産作業全般</li> <li>・建設業～森林土木作業全般、公園 or パークゴルフ場等造園作業全般</li> <li>・民間工事～一般住宅の庭園外構工事全般</li> </ul> ※尚、季節や作業スケジュールによって内容が変わります。
連絡先・連絡方法	電話またはEメールで、実習希望日、名前、住所、電話番号をお伝えください。ご不明な点など、お気軽にお問い合わせください。 担当者：代表取締役社長 高坂 英己
見学・体験希望者へのメッセージ	当社は、健康で協調性や積極性があり、明るく元気な人材を求めています。業務未経験者でも丁寧に対応しますので、ご安心ください。

関連情報（情報がある場合のみ表示：事務局で記載）

タイトル	現場技術者・現場スタッフ募集中！
内容	会社案内





# さまざまな技術を活用して幅広く社会に貢献できる これが我が社の自慢です！

## 目指せ、 技能の多能工化！



### 会社概要

●会社名	高坂林業株式会社
●所在地	〒088-0332 北海道白糠郡白糠町東2北1-1-14 TEL 01547-2-2644 FAX 01547-6-4000 E-mai : t-forest@umail.plala.or.jp
●代表者	代表取締役社長 高坂 英己
●設立	1960年9月(昭和35年9月)
●資本金	3,000万円
●事業内容	公共事業 森林整備事業・土木・造園工事の請負 民間工事 一般住宅の庭園・外構工事の設計施工
●取引銀行	北海道銀行・釧路信用金庫・大地みらい信用金庫
●主要取引先	北海道森林管理局・北海道建設管理部 北海道水産林務部・白糠町・末広緑化造園(株)

●従業員数	現場職員 19名 事務職員 2名 (通年雇用 9名)
●技術者	林業技士 3名 / 1級土木施工管理技士 2名 2級土木施工管理技士 6名 / 監理技術者 3名 1級造園施工管理技士 4名 2級造園施工管理技士 3名 1級建設機械施工技士 1名 / 測量士 1名 1級造園技能士 3名 / 北海道農業指導士 4名 北海道排水設備工事責任技術者 2名 1級エクステリアプランナー 1名 ブロック塀診断士 1名
●関連企業	末広緑化造園株式会社【3/4 SQUARE GARDEN】 有限会社 豊農林

### ご挨拶



当社は昭和35年の創業以来、公共事業を中心とした「森林施業」「土木建設業」「造園業」の請負事業体として歩んできました。そしてそれらの事業から培った技術を応用した新たな事業として「ガーデン&エクステリア事業」を第四の事業として加え、現在も技術の研鑽に邁進しています。そして、これらの事業を通じて得られた独自技術、すなわち“森を育てる技術”、“潤いと安らぎのある都市環境づくりの技術”、“環境緑化技術”、“心地良い住空間づくりの技術”による社会貢献がその果たすべき使命と考えています。現在では「需要消費型から提案・需要創造型」への転換と差別化戦略を取り入れた新しい経営方針のもと、社内のIT化の推進、さらには自社直接施工体制の確立と、一人一人がさまざまな技術を発揮できる「多能工化」の実現にチャレンジしています。このような経営近代化の推進により、全社員が将来の夢を実現できる、やりがいの持てる職場を目指して、これからも歩み続けます。